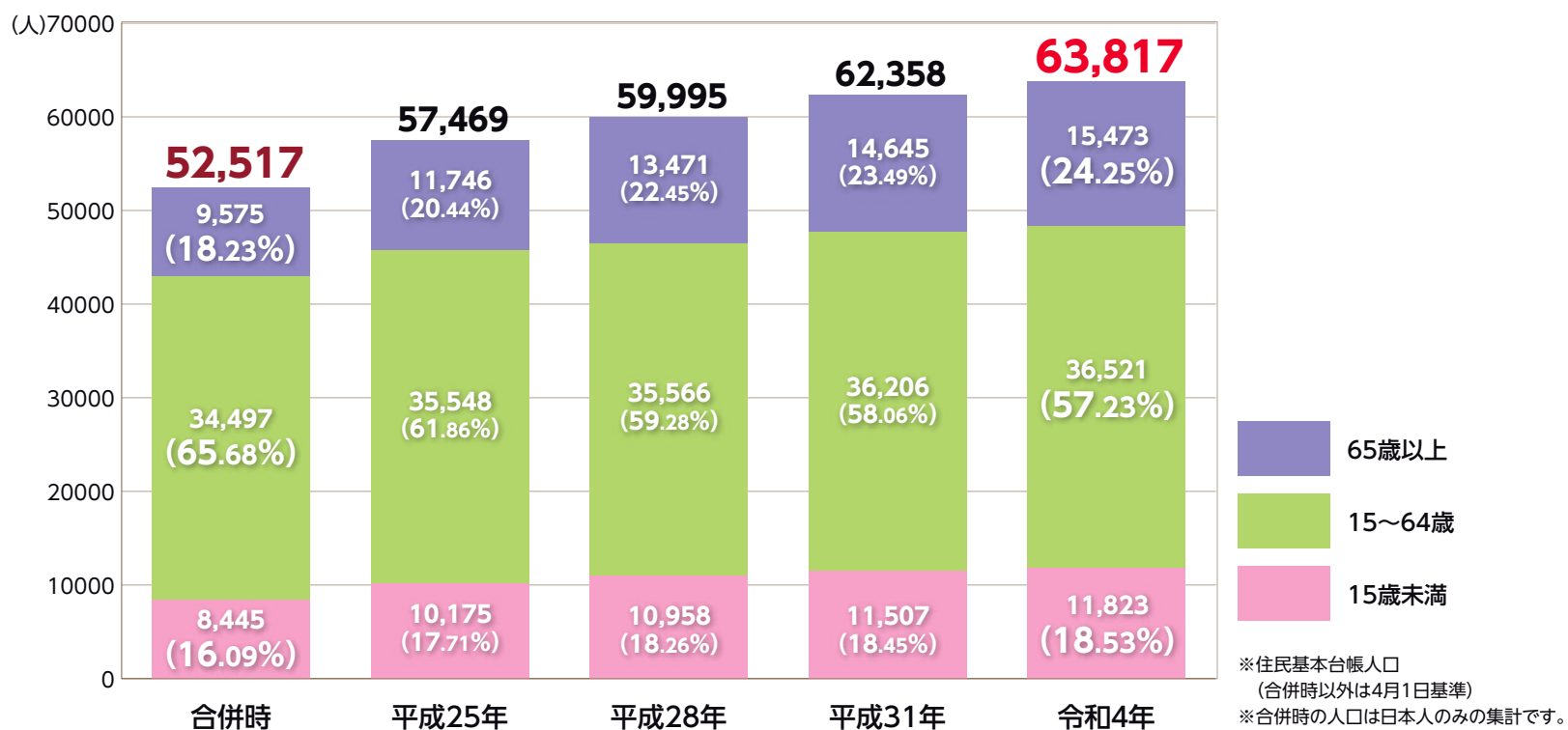


「住みよさ」でも高評価！ 人口増が続く合志市

本市は、平成18年2月27日に合併し、当初52,517人だった人口は現在63,817人（令和4年4月1日現在）と、1万人以上増加し、全国的に人口減少・少子高齢化が深刻化する中で、人口が増加している数少ない自治体です。

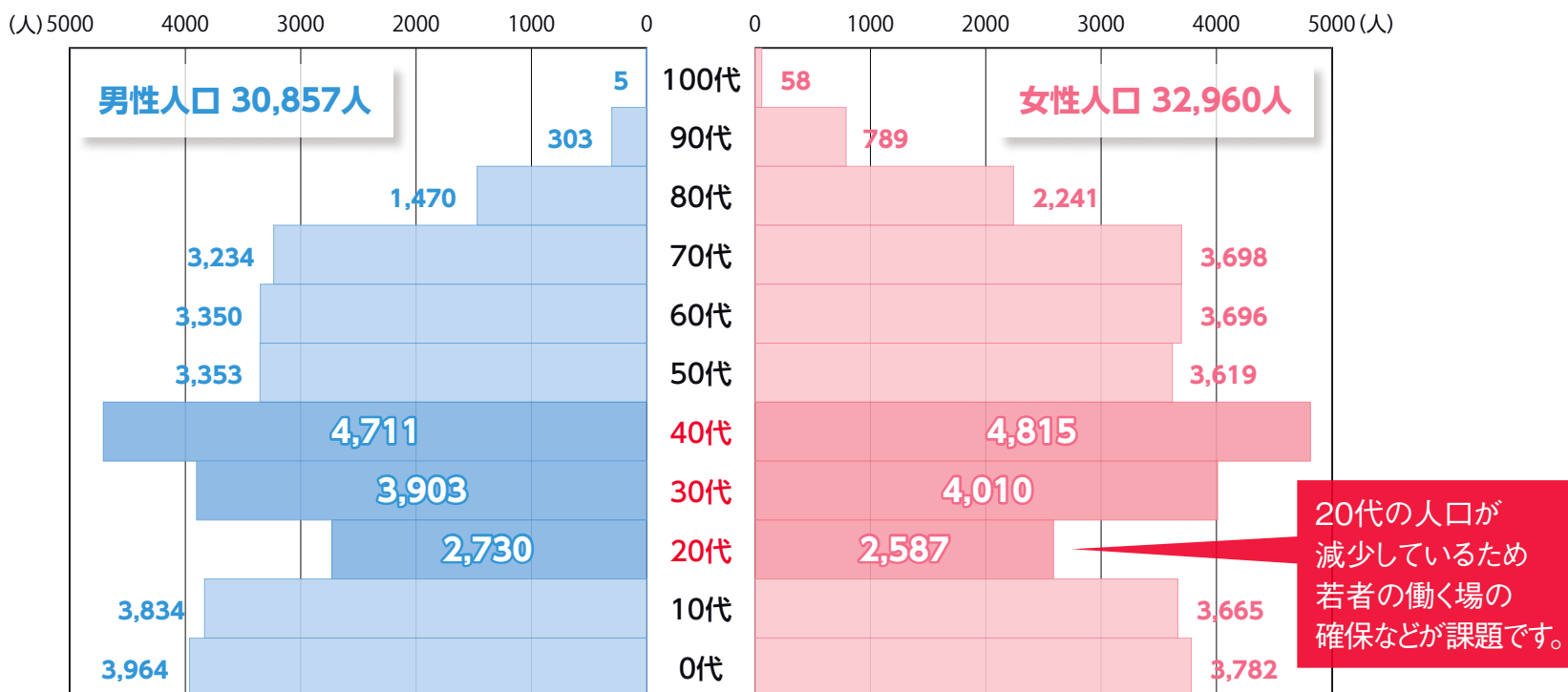
政令指定都市である熊本市周辺という、通勤通学の利便性および市内工業団地などへの企業進出の影響から現在も増加傾向が続いています。



令和4年4月1日時点の総人口63,817人のうち、男性が30,857人、女性が32,960人となっています。

10代から20代は、市外あるいは県外への大学進学や就職をきっかけに転出が多くなっています。一方で、ファミリー層である30代をはじめ子育て世代の転入が全体の人口増加の下支えとなっています。

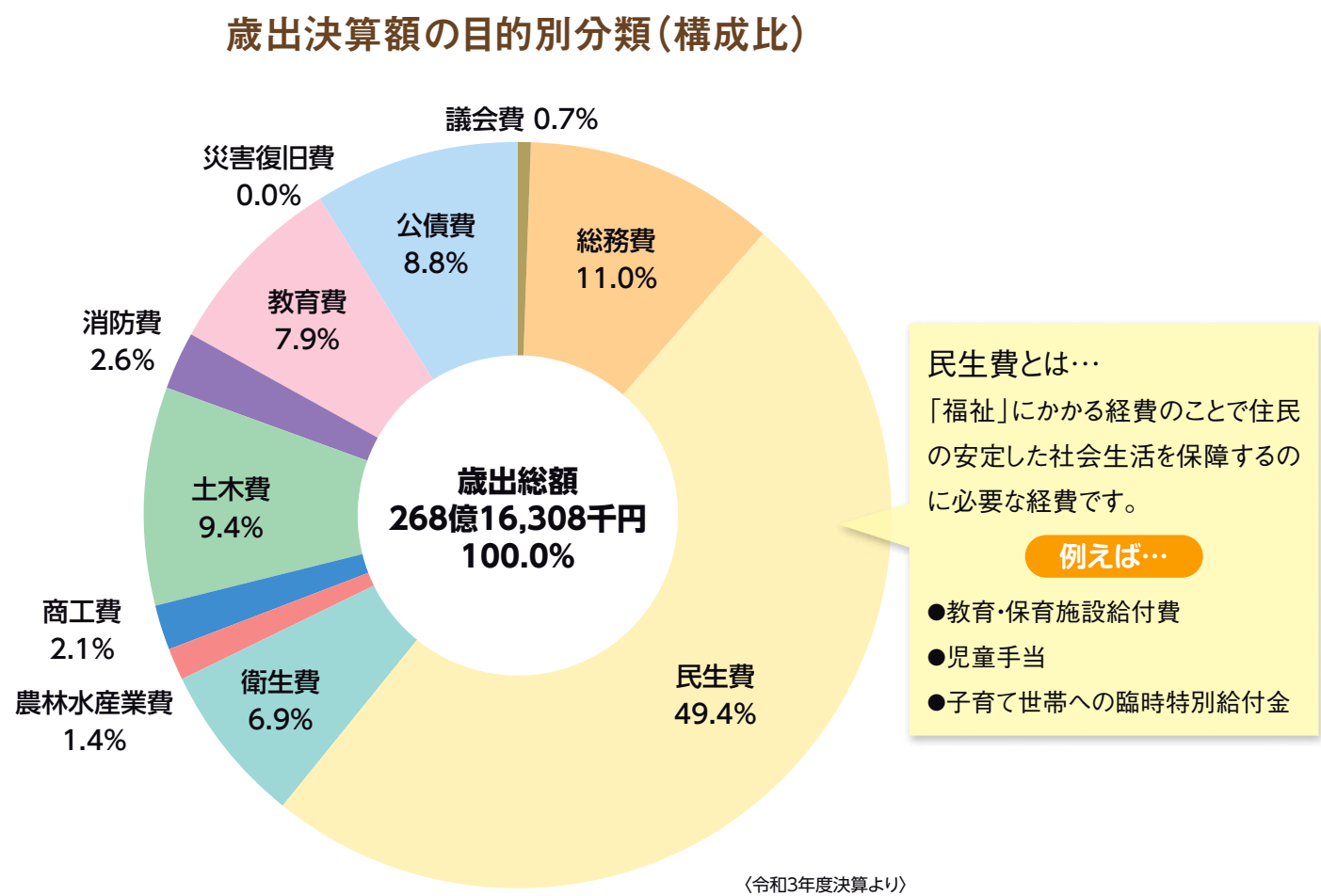
合志市人口ピラミッド（令和4年4月1日）



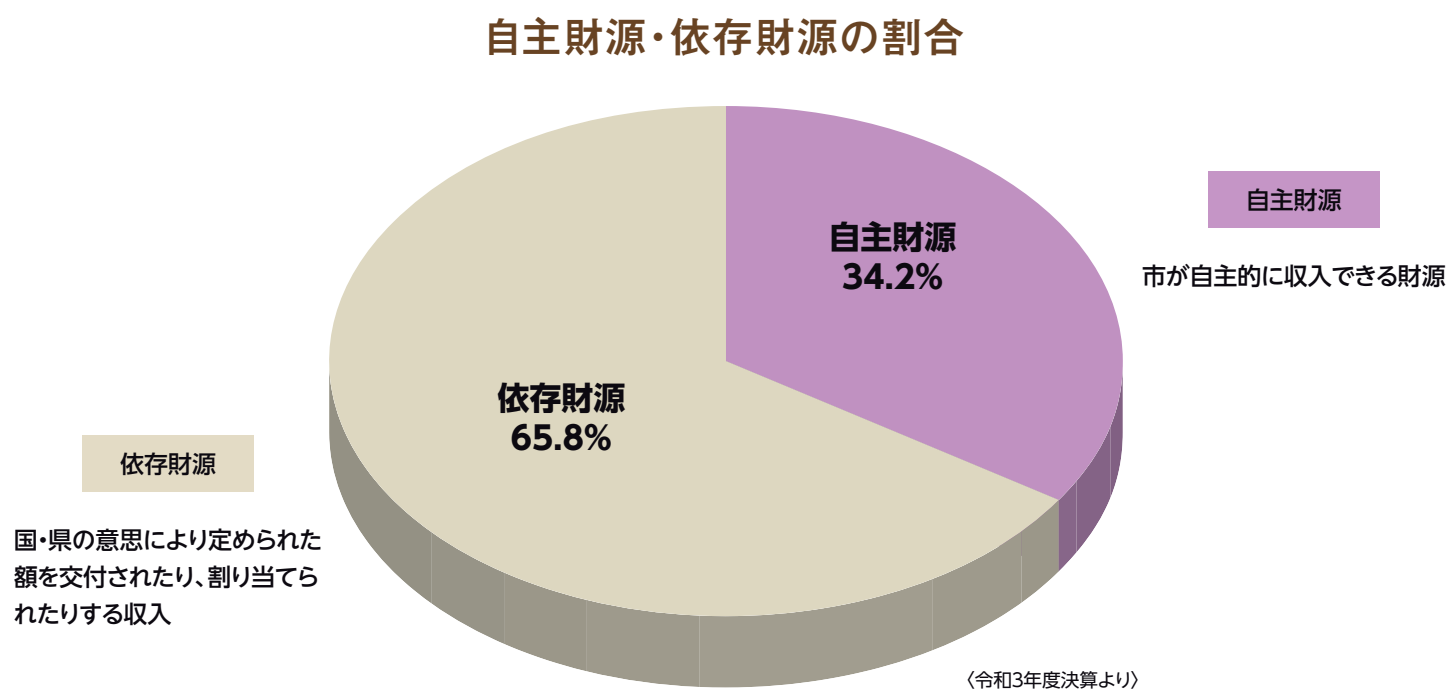
また、東洋経済新報社による「住みよさランキング2022」では、調査対象である全国812市区中で21位となり、全国の中でも注目される都市となっています。

厳しい財政事情の中、 各種施策を展開

本市は、人口が増加している数少ない自治体ですが、同時に福祉（民生費）や教育に関する費用も急激に増えている自治体でもあります。



少子高齢社会を迎えるわが国にあっては、人口減少に対する手厚い支援が行なわれていますが、本市のように人口増加が著しい市町村に対する国・県からの支援は少ないのが実情です。将来に向けて、安定的な自主財源の確保が必要です。



本市としては、財政事情が厳しい状況において、常に現状を把握しながら中長期にわたる財政計画を立て、また見直しながら、将来の子どもたちにつけを残さない行財政運営に努める責任があります。
今後はさらに、優先順位を考えながら、市の将来を見据えた事業への取り組みを進めていきます。